

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第9回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

- ・地域協議会委員視察研修を振り返って

（2）協議（公開）

自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

- ・「(仮称) さとまるバスの運行による検証事業」について
- ・「子どもの い～場所開設事業」について

令和6年度中郷区地域協議会活動報告会について

中郷区協議会だより編集委員会について

（3）その他（公開）

なし

3 開催日時

令和6年12月23日（月） 午後6時から午後7時10分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名

- ・委員：竹内会長、陸川副会長、尾崎委員、鹿島委員（オンライン出席）、桐山委員、高橋委員、竹内委員、松岡委員、村越委員、陸川委員、欠席2名

- ・事務局：中郷区総合事務所 高波所長、加藤次長、丸山市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、早川地域振興班長、津島地域振興班主事、恩田総務班長、高橋産業建設業務窓口班長、桐山福祉班長、野坂教育・文化班長（以下、グループ長はG長と表記。）

8 発言の内容（要旨）

【早川班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内会長】

会議録確認を高橋委員と竹内委員に依頼。

報告事項に移る。地域協議会委員視察研修の振り返りを行う。現在自主的審議事項で審議している子どもの居場所について、事例視察として長野県千曲市に行った。参加した委員から、気付きや課題、学んだことについて感想を述べていただきたい。今後、中郷区での子どもの居場所づくりに取り入れることができそうなこと、目指すところ、ヒントなどについて整理して述べていただきたい。

【陸川委員】

地域内の中心に学校があり、居場所の開設場所も高校生が寄れる立地であったことは、中郷の実態とは合わない部分であった。お菓子を保護者から寄付でもらっており、それを子どもに配っているという話があり、取り入れられる点ではないかと感じた。勉強を教えてくれる人がいれば、子どもも宿題を終わらせてから遊ぶ流れを作ることができて良いと感じた。

【村越委員】

少ない運営資金かつ利用料を無料としている中で、子どもたちの笑顔のために頑張っている若い起業家の話に感動し、衝撃を受けた。中郷区に取り入れられる点がないか考えたが、土地柄や交通の便を考えると、来年度すぐに取り入れるのは難しいと感じた。子ども食堂をしている事例も良いと思ったが、取り入れるのは難しいと考えた。中郷区としては、現在の居場所づくりの事業が求められており好評なのであれば、いかに負担なく開設回数を増やせるかを探っていた方が良いのではないか。

【竹内委員】

勉強を教える環境とつながりがあることや、居場所の開設場所が下校時の通り道になっていること、学校との立地関係が良いことが、運営が上手く出来ている点と感じた。様々な補助金や支援制度を活用しており、よく調べて活動している。

中郷区では居場所の開設を始めたばかりであることから、すぐに同じようにやるのは難しいと思うが、下校して一旦帰宅した後、いつでも誰でも行ける環境にし、開設場所にきたら名簿に名前を書くという方法も一つの良い方法だと思う。気軽に寄れる雰囲気を作っているのが良いと思う。スタッフが交代制で必ずいる体制を中郷区でもやれるように考えていけると良い。

【高橋委員】

中郷区で行っている事業とは規模の違いを感じ、寺子屋のような雰囲気を受けた。補助金を受け、事務局が上手く運営していると思った。中郷区での居場所開設の方向性を来年度は変えなければならないのかも含め、最終的な目標を考えて協議を進めていく必要があると感じた。中郷区で居場所の開設を検討し始めた当初は、寺子屋に近いイメージを持っていたが、公共施設を利用していることから今の運営方法より仕方ないと感じるところもある。

【陸川副会長】

居場所の運営者のオレンジファム代表の、子どもに対する想いの強さを感じ、そういった想いがないと自分の仕事とは別に、活動はできないと感じた。休眠預金活用制度など各種支援制度を活用しているのもそうだが、代表の、人とのつながりや行政にも呼びかける強さがないと難しいのではないかと思った。中郷区で何かできるとすれば、中郷区型コミュニティバスの派生として子どもを送迎できる仕組みがあると良いと感じた。

【竹内会長】

本気で取り組むかがカギとなっていると思う。机上で話したことをすぐに実践するのは難しいことであるが、今の中郷区での取組と熱量の差を感じた。開設場所に子どもが自力で立ち寄り、自力で帰ったり保護者が迎えに来たりすることを考えると、中郷区は、坂本町内会館の場所がベストだと感じる。見守る人がいて、子どもは下校手段に関係なく自分で寄ることができるため、開設がスムーズになるのではないかと思う。運営者が塾講師であったため学習支援もでき、塾の生徒とのつながりがあったとのことだが、中郷区では取り入れにくい点である。しかし、スポーツや文化など色々なジャンルの活動が集う場所として、今後学校や保護者と意見交換しながら実現できることになるのではないかと感じた。ポイントは、子どもたちにとって居心地の良い場所を作ることである。委員の皆さんとも意見交換をしたり、「子どものい〜場所開設事業」の受託者である中郷区まちづくり振興会に視察研修の内容を共有したり、次年度に向けて進んでいきたい。居場所のファボプレイスは通学路上にある場所であったが、目の前の道路が暗く、少し危険ではないかと感じた。運営者のオレンジファムにはオレンジファムの課題があり、この縁を機として、こちらの情報を共有したり、オレンジファムの情報を共有していただいたり今後も繋がっていけると良いと思う。

他に意見はあるか。(なし)

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、地域協議会が提案した地域独自の予算事業2件のうち、最初に「(仮称)さとまるバスの運行による検証事業」について、事務局に説明を求める。

【早川班長】

これまでの経過を報告する。11月29日(金)に中郷区型コミュニティバス検討委員会を開催。平日の毎日、区内巡回と新井方面等の2便を曜日別、目的別、地区別に運行することを協議。運賃は、近隣で運行している公共交通の運賃を参考に300円で提案し、300円を軸にまちづくり振興会が最終決定していくこととなった。事前登録制とし、登録した方にチケット販売することとした。12月5日(木)に中郷区公共交通懇話会を開催。検討委員会での内容を基に懇話会にて協議し、異論のないことを確認した。高齢者の利用が中心となると思われるが、毎日運行内容が異なるため、ルート・ダイヤ及び利用方法等について、丁寧な説明が必要との意見があった。実態調査で把握している方に対し個別に説明していくこととし、利用者にとって、民生委員児童委員等の身近な方や、中郷区まちづくり振興会、総合事務所、地域協議会等、協力し総力戦で事前登録及び個別の説明に取り組む。12月19日(木)(仮称)さとまるバスを運行。区内巡回と新井買い物便の試験運行を行った。利用者は金山地区2人、江端地区3人、新道地区1人の計6人。実態調査に協力いただいた方や、今回のルートの対象地区に住んでいる方で利用してみたいと申し出のあった方に声をかけて実施。利用者からは良かったと感想があった。買い物を目的とした運行であったことから、手荷物も多く、悪天候であったことをふまえ、降車は利用者の自宅付近とすることも一つの手法であると感じた。運行時間は概ね予定通りとなった。買い物ルートに組み込まれていた一部のスーパーでの降車がなく、このようなことから、停留所として削ぎ落せるところは削ぎ落とし、効率的に運行することも考えられる。互助による輸送を行う中郷区まちづくり振興会と情報共有し今後の運行計画の参考とする。今後のスケジュールについて、中郷区まちづくり振興会と協議しながら、乗降場所の申請や事前登録票・チケットなど準備していく。住民には、1月の総合事務所だよりにて大まかな内容を提示し、4月からスタートする旨を周知。2月の総合事務所だよりにて事前登録の案内をし、事前登録を基にダイヤを組み、登録した方にはダイヤを渡す。3月の総合事務所だよりで4月からの運行をより具体的に周知する。

【陸川委員】

事前登録は良いと思うが、登録を忘れていたり、事前登録制のことを知らない人もいると思うが、後日申請でも良いのか。

【早川班長】

後日でも良い。登録は年1回とせず、随時とする。

【竹内会長】

利用者は登録していることも忘れる可能性がある。登録者にカードを配付するなど、登録者自身が分かるようにできると良い。適宜アプローチも必要。自分の母

親も（仮称）さとまるバスの運行に参加し、有難いと話していた。事前登録者のことを思えば、自宅前まで送ってあげても良いように思うが、法律の兼ね合いもあることから、行政と精査しながら決めたい。限定されている利用者の手助けとなる運行になると良い。

【竹内委員】

これから検討しなければならない課題はまだあるように感じる。事前登録者の拾い出しをしていく必要がある。スタート後に互助による輸送のことが広まり、利用したいと声が出るかもしれない。より多くの人ができるようにしたい。

【竹内会長】

知ってもらうことが大切。より丁寧な説明が求められる。中郷区まちづくり振興会だけでなく、地域協議会委員や民生委員児童委員も説明に協力するようにしたい。そのためにも、まず説明者自身が同じ説明をできるように意識をすり合わせておく必要がある。チラシでの周知もそうだが、高齢者にとってどこが理解しにくいのか、丁寧な説明となるのかがポイントとなる。学習しながら進む必要がある。

【高橋委員】

情報共有のために中郷区型コミュニティバス検討委員会の資料を地域協議会にも共有すべきでないか。

【村越委員】

試験的な運行ができ、本格運行後も乗る予定の人の意見を聞くことができるのは良いこと。このまま継続して本格運行に向けて協議、改善していけると良い。

【竹内会長】

4月のスタートまで秒読みである。次回の会議で中郷区型コミュニティバス検討委員会の資料と決定事項をまとめたものを共有する。協議するのではなく、決まったこととして前進あるのみである。

【松岡委員】

資料もなく口頭説明のみで、よく理解できていないのが現状。情報共有できるとよい。

【陸川副会長】

中郷区公共交通懇話会に会長として出席し、事務局の説明のとおり丁寧な説明を求める声が多かった。丁寧な説明もそうだが、ロコミで広がっていくと自然に増えていくのではないかと思う。

【竹内会長】

総合事務所だよりでの周知について、利用者は高齢者が多いことから、これまでの乗合タクシーに触れるような難しい内容ではなく、新しい運行が始まることをストレートに伝える内容がよい。案の作成には皆さんや中郷区まちづくり振興会の意見を聞きながら進めていきたい。

【鹿島委員】

無駄なく、利用者が行きたい行先に重点的に行ける運行になるのが理想だと感じた。

【竹内会長】

地域協議会の場合だけでなく、意見があれば声をあげていただきたい。

次に、もう1つの地域独自の予算提案事業「子どものい～場所開設事業」について、事務局に説明を求める。

【早川班長】

資料 No1、2 に基づき説明。次回の地域協議会で次年度に向けたアンケートについて協議させていただきたい。

【竹内会長】

12月16日（月）に中郷コミュニティプラザで開設した際の感想を聞いた。保護者から宿題をして帰ってくることから有難いと意見を聞き、見守り者からは中郷コミュニティプラザは見守りをしやすい環境と意見を聞いた。

【桐山委員】

私の子どもは楽しかったと言って帰ってくる。ただ、何が楽しかったなどは出てこない。他の人を誘うアイデアがないと参加者は増えないと感じた。

【竹内会長】

当日の参加希望の連絡は親から連絡があったのか。急遽の受け入れは保護者に確認の連絡はしていないのか。

【早川班長】

連絡帳等で保護者から学校に連絡が入っていたことを確認し、参加してもらったとのことである。

【陸川委員】

（中郷区まちづくり振興会理事の立場で）保護者が申し込んだことを忘れてしまうようだ。今年度は一括の申込みとしたが、次年度は、1回毎の申込みを受け付ける方法が良いと感じた。当日に1人2人の参加者が増えても、送迎は事前申込みの時点で2往復せざるを得ないため支障はないが、管理の面で当日の申し込みが増えるのは良くないと感じている。

【早川班長】

次年度の開催では 1 回ごとの申込みにするとうい。そのように変更することは可能である。

【竹内会長】

中郷区まちづくり振興会の負担は増えないか。

【早川班長】

申込み時にメールアドレスの登録を必須にすれば、連絡を取りやすくなるため負担感は増えないはずである。

【竹内会長】

若い保護者が多いことから、オンラインによるやり取りの方が良いだろう。利便性と確実に出席確認ができる方法をとりたい。送迎時のトラブルはないか。

【陸川委員】

(中郷区まちづくり振興会理事の立場で) 送迎時のトラブルはない。移動距離も長くなく、シートベルトをきちんとしていいる。座席数が足りなくなることから添乗員は同乗していない。

【村越委員】

小学校の児童の 2 割程度が参加している。参加したい人がみんな参加できているのか、参加したいのに参加できていない人がいるのか確認したい。見守り者について、行政に頼らないようにならないと継続が難しい。

【竹内会長】

行政と協働ではあるが、自立して主体的に実施していけるよう考えなければならない。運営方針について、現在のまま子どもが自由に活動できるようにしているのが良いか、メニューを用意した方が良いか意見を聞きたい。

【陸川副会長】

目的があって参加してくると用意されたメニューをやるだろうし、何もなければ、ないなりに工夫して活動すると思う。学校帰りであることから、遊具を持っていけない。ボール程度はあっても良いかと思う。参加者は放課後児童クラブを利用している子が多いのか。

【早川班長】

まだ把握はしていない。アンケートにその項目を入れるのも一法である。

【竹内会長】

利用していない子にもアンケートをとることとしており、次年度の開設に意見を取り入れられるように詰めていかなければならない。

【高橋委員】

1 回 1 回の開設時の課題もそうだが、全体を通した総合的な課題をまとめるのも必要ではないか。アンケートを取る対象が子どもなのか保護者なのか分からないが、そのアンケート結果を踏まえて今年度の残りの開設を行う必要がある。

【竹内会長】

今後の開設も協議会委員から参加していただき、意見をいただきたい。

【尾崎委員】

先日行われた 5 回目の開設に参加した。前回ダンスをしたい子がいるという意見があったため音楽を流したところ、ノリノリに踊っていて良かった。何か材料が用意されたうえで遊んでもらうのも良いと思った。

【桐山委員】

児童クラブ利用者の参加について、児童クラブに午後 6 時に迎えに行っている家庭の子は、居場所の終了時間が午後 5 時半までのため、終了時間が早く迎えが間に合わないことから参加できないと聞いている。

【加藤次長】

(中郷区まちづくり振興会理事の陸川委員に対して) 10 月の地域協議会で、第 2 回の総合体育館での開設時にボールに不備があったことにお詫びしたところである。資料 No2 の「体育館にサッカーボール、ドッジボールが欲しい」という課題について、この回では、既存のボールは整っていたがそれ以外にサッカーボール等が欲しいということか。

【陸川委員】

(中郷区まちづくり振興会理事の立場で) 既存のボールについては空気を入れて対応してほしいとのことだったため空気を入れたが、老朽化によりすぐ抜けてしまう。また、バレーボールを使ってドッジボールをしていたことから、ドッジボールが欲しいという意見である。サッカーボールも体育館にないことから、あるとよい。

【加藤次長】

既存のボールは今回も万全でなかったということか。

【陸川委員】

(中郷区まちづくり振興会理事の立場で) そうである。可能であれば新しいものに入れ替えていただきたい。当事業に限らず、体育施設として用意はあっても良い。

【加藤次長】

承知した。今回も万全で臨めず申し訳ない。

【丸山G長】

不備があり申し訳ない。今回は空気が不足しており使えないとの意見であったため、空気入れを用意したので対応してほしいと施設管理受託者にお伝えした。しかし、劣化により空気を入れても抜けてしまうと意見を聞いたため、今後不備のないように対応する。

【竹内会長】

都度話し合いながら改善していきたい。

次に、令和6年度中郷区地域協議会活動報告会について協議する。開催時期について、例年、3月第2土曜日に設定しており、地域協議会の報告会を行うことからなるべく多くの委員に参加していただくため日程調整を行う。3月8日（土）の予定はどうか。

【鹿島委員】

長期出張が続いており、2月の中旬から3か月間海外出張となる見込みである。時差によるが、時間が合えばリモートで参加できると良い。

【竹内会長】

3月8日（土）午後1時からでお願いしたい。概ね2時間程度。内容は事務局と相談する。「(仮称)さとまるバスの運行による検証事業」と「子どものい〜場所開設事業」を中心に、中郷区地域協議会が審議を進め実践に結び付けた内容を参加者に説明する予定。また、昨年度の地域協議会研修からつながって実施に結び付いた中郷区さとまる学校と創造行政研究所が行ったレゴブロックワークショップについても私から説明したい。場所は、はーとぴあ中郷研修室で行う。

【桐山委員】

商工会青年部の研修旅行と重なる可能性がある。

【竹内会長】

正確な日程を確認していただきたい。例年、報告会終了後に勉強会を行っている。委員が集まる機会であり、可能であれば行いたいと思うが、どうか。

【高橋委員】

テーマ設定にもよるが、次年度のことも考えて勉強会が行えると良い。

【竹内会長】

事務局と相談しながら検討する。日程に変更があるようであれば、再度連絡する。

次に、地域協議会だより編集委員会についてに移る。編集委員 1 班、班長の陸川委員に現状の報告を求める。

【陸川委員】

本日の会議終了後に編集会議を行う。原稿作成の依頼をしたら引き受けていただきたい。

【竹内会長】

原稿作成の依頼があったら快く引き受けていただきたい。この件について質問はあるか。(なし)

その他に移る。事務局及び委員の皆さんから何かあるか。(なし) 出席の総合事務所職員から、発言等あるか。(なし)

次回の地域協議会は、1月27日(月)午後6時から中郷コミュニティプラザで行う。

1 班の編集委員は、この後編集会議をお願いします。

【桐山委員】

商工会青年部の研修旅行の日程の確認が取れた。3月8日(土)、3月9日(日)である。

【竹内会長】

令和6年度中郷区地域協議会活動報告会は、3月1日(土)に行くこととする。

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165) E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。